

An illustration of a tree with several bright orange persimmons hanging from its branches. Two birds, possibly quail, are perched on the branches. The background is a soft yellow and blue gradient, suggesting a sunset or sunrise. The title 'イエノコト' is written in white at the top left, and '暮らしのお便り' is written below it. In the top right corner, 'Vol.108' and '11月号' are printed. At the bottom right, there is a date '令和三年 丑年 霜月' and a paragraph of text. At the bottom left, there is a signature '一級家事セラピスト 淀川 洋子'.

Vol.108
11月号

旧暦のある暮らし
令和三年 丑年 霜月

イエノコトの十周年祭が無事に終わりましたこと、心より感謝申し上げます。皆さまの温かいご支援を糧に精進して参りますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

気がつけば、二〇二一年も残すところ暦二枚になりました。あの夏の色々な思いのオリンピックやパラリンピックも過ぎていき、少しだけ落ち着きを取り戻した霜月を過ごしていることに、ほっとひと息です。

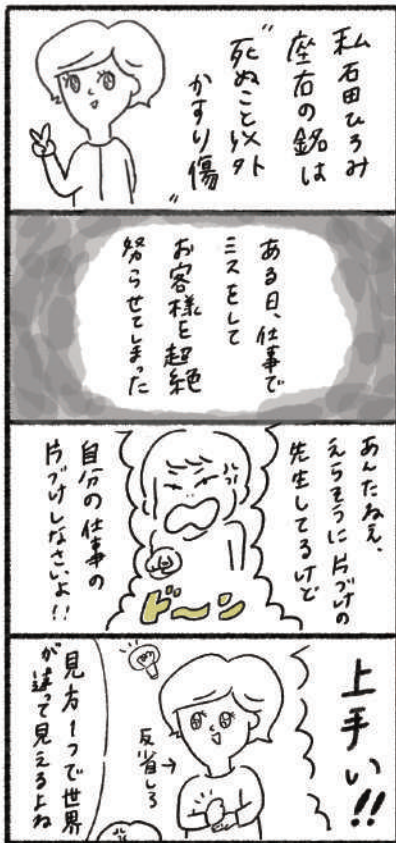
今回、改めて感じさせていただいたことは、何気なく過ぎていく日常の暮らしの中にこそ大切な事柄があり、それは当たり前すぎて、普段は見落としてしまいがちで、意識してこそ手に入るものなんだということです。今年も区切りの時を迎えて、大掃除の前の片付けを考えたい、そんな十一月、霜月の候。

街の風景

ハロウィンが終わると、街の風景は少しずつクリスマスへと移っていきます。まだ秋が真っ盛りでありますが、やがて冬へと変わっていき、寒い日々が始まります。夏が大好きな私は今の時点で、これからやって来る寒さを思うと、多少なりとも気持ちが下向きになってしまっているのですが、それでも寒さから生じる、凜とした空気が好きです。枕草子の冒頭にもあるように、寒さが厳しい頃の早朝の、きりつとした空気感は、とても気持ちのいいものです。

でも今はまだ、色づいていく山の紅葉や美しい夕暮れを愛でたりして、秋の趣深さを存分に味わいたいですね。(文 宮本)

座布団5枚



どう見ても自分派だ

「自立のすすめマイルール」
 工作ができない
 泣かないで一からやり直そう

難しい工作や、じっくり考えるパズル、お母さんに教えてもらった編み物。頑張ったのに、途中でうまく組み合わせられなくなったり、どうしても答えにたどりつかなかったり、編み目がずれちゃったり：。

真剣に取り組んでいればいるほど、悔しいよね。胸が苦しくなると、涙がぼろり。えーい！って紙をひっちゃぶきたくなるものだよ。それとも、「もう、やめた」って放り出しちゃうタイプかな。

でもね。最初からうまくいかないのは、当たり前。一つ一つ積み上げるようなことは、途中でつかえることもある。放り出すのは簡単だけど、それでいいわけがない。そんな時は、思い切って一からやり直してみよう。

「急がば回れ」という言葉がある。いらいらする気持ちをぐっと抑えて、一から取り組むと、「あ、ここで間違えたんだ」ってすぐわかったりするよ。

(著 辰巳渚)



今月の推し

藤本健さんの木器



画像元：k.woodwork Instagram

沖縄県南城市玉城にて主に木工施盤を使った器を作成。割れ、欠け、ゆがみもデザインの一部。最終的な変形を木に委ねる、木が作り出す美しい器を制作している。11月には福岡で展示会もあります。



洋子ばあばの知恵袋

七五三

七五三の由来には諸説ありますが、平安時代の頃から宮中で行われていた、三歳の「髪置」、五歳の「袴着」、七歳の「帯解」の三つの儀式が基になっているそうです。昔は衛生状態も悪く医療も未発達だったので、子どもの死亡率がとても高かったこともあり、「七歳までは神のうち(神の子)」として扱われ、このような節目に子どもは医療も発達し、幼くして亡くなる子どもの数は減りましたが、子を思う親心に変わりはないため、十一月十五日にこだわらず、休日や都合の良い日にお祝いをすることも多いようです。

ご家族で参拝したり、お祝いの膳を囲んだりして素敵な思い出ができる、とよろしいですね。